東興物流

在来貨物の上海積み替えSv.開始

―日本から長江流域や中国内陸、さらには東南アジア向けも対応します

コンテナ／在来・プロジェクト／航空輸送など、国際複合一貫輸送を行うNVOCCの東興物流（本社：東京）はこのほど、日本から上海を経由した中国長江流域・内陸向け在来船貨物の一貫輸送サービスを開始。今後の発展が見込まれる中国内陸エリアへのマーケット拡大を狙い、積極展開を図っている。

日本の横浜／名古屋／神戸をメーンポートに、上海までは第一中央近海が運航する月2便の在来船等を利用して、上海から南通／南京／常州／常熟／蕪湖／武漢／重慶などの長江流域への内航船バージ輸送を提供する。日本～上海～中国内陸地までの全区間を、東興物流がスルーでハウスB/Lを発行する。

日本からは日系工場向けのプラント機械や造船所向け舶用品など、コンテナ輸送できない重量物をターゲットとしている。

佐藤誠司・営業部長は「単体としてはコンテナ化が難しい重量物ですが、全体として小ロット貨物の要望が数多くありました」と、中国内陸向けについての顧客ニーズの高まりを感じていたという。

「しかし、小ロットではチャーター船を手配するのはコスト的に厳しいこともあり、日本から在来船定期便の頻度が高い上海を利用して、長江沿岸港に向けたサービスが提供できないかと検討を重ねた結果、実現に至ったわけです」と語る。

一方で日本から遠距離にある長江流域向けに関しては、安定したスケジュールで運航されるのか、貨物輸送状況の確認などに問題ないか、と気になる荷主も多いが、その点、中国側での揚げ手配などを、現地と綿密に連携が取れる同社の上海支店が担うことで、その懸念を払拭している。

小ロットの重量物貨物にも対応する

また東興物流では、長江流域向けサービスのほか、上海接続でミャンマー／バングラデシュ／インドなどの東南アジアや中近東向けなど、日本からの「在来配船ルートがない」、「配船頻度が少ない」仕向地・航路に対応するサービスも提供する。

上海接続となるため、航海日数は長くなるが、プロジェクトの先行品／副資材／修理品などの小ロットの重量物にも対応することで、新たな顧客ニーズの取り込みを図る。

さらに、中国を起点に韓国／ベトナム／バングラデシュ／ミャンマー／インドなどへの三国間の在来輸送にも対応し、中国からの調達材などの輸送サービスを提供していく。

東興物流はことしから開始したスチールコイル専用コンテナを利用した海上輸送サービスに加え、今後は根強いニーズのある中国内陸向けや三国間の在来船サービスにも力を入れていく方針だ。⚓

http://www.sunriselogi.com
Sunrise 東興物流株式会社
Logistics Company Limited Japan
在来営業募集！ 詳しくはWebへ
国際複合一貫輸送はお任せ!!
住所：〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 2-14
朝日神保町プラザ 4 階 404 号室
TEL：03-5825-4396　FAX：03-5825-4397